

事業名		県営農村地域防災減災事業(ため池補強)		路河川名等				
事業毎の通番		4	市町村名	木祖村	箇所名(ふりがな)	大平ため池(おのだいらためいけ)		
事業概要	事業目的	本ため池は、築造から42年余が経過しているが、近年堤体からの漏水が著しくなっており、ため池の決壊により下流の農地、民家、県道等に被害が及ぶ危険がある。 このため、当該施設の危険箇所の改修を実施し、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることを目的とする。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	土地改良法			
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、木祖村地域防災計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象:農地11ha、人家15戸、公共施設(主要地方道、公民館) 受益対象:農地13ha						
	着手年度	平成29年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.0		国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	ため池工 N=1箇所 (堤体工 L=60m、取水工 1箇所、洪水吐 1箇所)			131,000	72,050	20,960	34,000	3,990
年度事業内容(主な工種)	ため池実施設計 一式			12,000	6,600	1,920	3,000	480
事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	作物生産効果(干ばつ被害による減産が防止できる) 災害防止効果(ため池の決壊による農地、農作物、人家、公共施設等への被害を防止できる)						
	間接的効果 (定量的・定性的)	優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。 ため池や農村景観が保全される。						
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象の人家戸数 : 15戸 保全対象の公共施設 : 主要地方道開田三岳福島線、公民館2箇所 保全対象の農地、農業用施設 : 農地11ha 保全対象の避難場所等 : 有(重要施設) 					評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ため池依存度 : 依存度 中 ため池受益面積 : かんがい面積 13ha 地域防災計画上の位置づけ : 木祖村の地域防災計画に位置付け 					評価	B
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比(B/C) : 1.0 事業期間 : 4年間(H29~H32) 工法等の比較検討 : 堤体工に関する工法の比較検討を実施 					評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> 危険度調査結果 : 要改修度B 過去の被災履歴 : なし 応急対策の実施状況 : 平成27年度にハザードマップを作成済 					評価	B
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> 事業情報の共有 : 関係者に周知 地域の取り組み : 地元で維持管理を実施 地域の合意形成 : 合意形成が図られている 住民との協働 : 地元で維持管理等を行っている 					評価	A
	部意見	災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な対策工事が必要である。	行政改革課意見	堤体法尻から漏水するなどの老朽化が進んでおり、堤体が決壊した場合、下流域への影響が大きいことから、必要性が高い。	評価結果	○	総合評価	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

大平ため池地

漏水箇所

公民館

簡易水道施設

主要地方道 開田三岳福島線

木祖村役場

国道19号

主要地方道 開田三岳福島線

堤体工標準断面図

【整備の必要性がわかる状況写真等】

漏水状況 通常期

法尻水路を減水

取水工(斜槽)

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本ため池は、築造から42年余りが経過しているが、大規模改修は行わず、地元自治協議会において、草刈等の維持管理を行っていた。しかし、近年法尻からの漏水が著しくなり、東日本大震災においてため池が決壊した事象から、地域住民の不安も増大し、ため池改修について木祖村長に強く要望している状況である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元自治協議会において、年2回の巡回、草刈等の共同作業を実施しており、豪雨等の災害の危険がある場合は、事前・事後の見回りを行っている。 ため池の改修については、この管自治協議会より要望がだされている。
③事業説明等の経緯	<ul style="list-style-type: none"> H27年7月、漏水箇所の現地確認及び事業化へ向けた打合せ実施 H27年度にハザードマップを作成 H28年度、地元へ事業化へのスケジュールを説明
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、木祖村地域防災計画に基づき、ため池の耐震補強を行うことで、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区のため池は、下流に農地が存在するほか主要地方道、公民館等の公共施設も存在するため、決壊時の被害は重大である。 また本地区は、木祖村が策定した農村環境計画の観光交流推進エリアとなっている。
⑥地域活性化への影響と配慮	災害が未然に防止されることにより、優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。 また、観光交流推進エリア内であることから、ため池や農村景観が保全されることにより、観光資源として地域の活性化につながる。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 35度57分32
東経:E 137度44分57